２０１３年3月１９日

各 位

会 社 名 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
（コード番号８２６７　東証第一部）
問 合 せ 先　秘 書 室 責 任 者　　堤　唯見
（電話番号043-212-6042）

当社子会社（マックスバリュ中部株式会社）の特別損失の計上及び業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、当社連結子会社であるマックスバリュ中部株式会社（名証第２部：コード8171）が、特別損失の計上及び2012年3月14日に公表した2013年2月期（2012年2月1日～2013年2月28日）の通期業績予想を添付資料のとおり修正することとなりましたのでお知らせします。

尚、本件による当社の連結業績予想の変更はありません。

以上

２０１３年3月１９日

各　　位

会 社 名　　マックスバリュ中部株式会社
代表者名　　代表取締役社長　正木 雄三
（コード番号：８１７１　名証第２部）
問合せ先　　取締役総合企画部長　小泉　　覚
（ＴＥＬ　０５９８－５１－３１２８）

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、２０１３年２月期において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、２０１２年３月１４日に発表いたしました２０１３年２月期の業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上

①減損損失　７２３百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、店舗に係る減損損失６７９百万円、遊休資産等に係る減損損失４４百万円を特別損失に計上いたします。

②その他の特別損失　９２百万円

２０１３年３月１日付のマックスバリュ中京株式会社との合併に伴うシステム統合等の諸費用９２百万円を特別損失に計上いたします。

２．業績予想の修正

（金額の単位：百万円）

2013 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（2012 年 2 月 1 日～2013 年 2 月 28 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	１３６,０００	２,４００	２,４００	６８０	２６円７５銭
今回修正予想（B）	１３４,９００	１,６７０	１,７９０	２５	０円９８銭
増 減 額（B－A）	△１,１００	△７３０	△６１０	△６５５	－
増 減 率　　（%）	△０.８	△３０.４	△２５.４	△９６.３	－
（ご参考）前期通期実績（2012年1月期）	１２２,３３８	１,８２３	１,９１０	△１１５	△4円５２銭

2013 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（2012 年 2 月 1 日～2013 年 2 月 28 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	１３６,０００	２,４５０	２,４５０	７５０	２９円５０銭
今回修正予想（B）	１３４,５００	１,７２０	１,８３０	１００	３円９３銭
増 減 額（B－A）	△１,５００	△７３０	△６２０	△６５０	－
増 減 率　　（%）	△１.１	△２９.８	△２５.３	△８６.７	－
(ご参考)前期通期実績（2012 年 1 月期）	１２２,３１９	１,９２０	２,００３	△２９	△1円１６銭

修正の理由

通期予想における営業収益につきましては、連結・単体とも当初予想を下回るものの、概ね計画通りとなる見通しとなりました。しかしながら、下期以降、競合店の新規開店が相次いだこともあり、競争環境は更に激化し、売上高既存比は２．２ポイント、売上総荒利益率は０．２ポイント、当初計画を下回る見込みとなりました。一方、経費につきましては、グループ共通販促の活用等、売上高確保に向けた販促費の増加に加え、電気料金の値上がりや中国現地法人設立の遅れ等により、売上高販管費率が当初計画を上回り、連結・単体ともに営業利益、経常利益が当初予想を下回る見通しとなりました。更に、項番１のマックスバリュ中京株式会社との合併に伴う特別損失の計上等により、特別損失が当初計画を上回る見込みとなり、当期純利益につきましても当初予想を下回る見通しであります。

以上の理由により、２０１３年２月期通期の業績予想を修正いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上